

## お使いになるまえに～安全のために必ずお読みください～

本機を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。以下の表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

### 本書に記載する記号について



**警告**

誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性、または物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

### 表示の例



**注意**

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図のなかに具体的な注意内容（左図記号の場合は高温注意）が描かれています。



**禁止**

⊘記号は禁止行為であることを告げるものです。図中や近傍に具体的な禁止内容（左図記号の場合は分解禁止）が描かれています。



**指示**

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図のなかには具体的な指示内容（左図記号場合は電源プラグをコンセントから抜くこと）が描かれています。

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

### 警告



交流 100V 以外の電源では使用しないでください。感電や火災のおそれがあります。電源コードに傷をついたり、上に重いものをのせたり、強く引っ張ったりしないでください。感電や火災のおそれがあります。機器の内部に燃えやすいものや、金属などを入れないでください。また、水などをかけないでください。感電や火災のおそれがあります。万一、異物が入ったり、水がかかり動作をしない場合は、すぐに使用を中止して、販売店または当社営業担当にご連絡ください。電源コードを高温部に近づけないでください。コードの被覆が溶けて感電や火災のおそれがあります。



機械の分解、改造は絶対におこなわないでください。感電や火災のおそれがあります。

### 警告



使用中に本体から煙がでたり、異臭、異音がするなどの異常が発生した場合はすぐに使用を中止して、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または当社営業担当にご連絡ください。そのまま使用すると感電や火災の原因になります。機器を接続するときは、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。これを怠ると感電の原因になります。電源プラグを抜くときは、必ず本体を持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードに傷がついて感電や火災の原因になります。ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電のおそれがあります。お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。これを怠ると感電の原因になります。



本機を直射日光の当たるところや、冷暖房器の近く、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因になります。本機を水、油、薬品等がかかるおそれのある場所、ごみやほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。本機をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。倒れたり、落下してけがの原因になります。本機を長時間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを抜いておかないと火災の原因になります。本機を移動させる場合は、本体台座部分を持ってください。台座部分を持たずに移動すると、事故や故障の原因になります。乾電池の使い方を誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。つぎのことを必ず守ってください。電池をリモコンに入れるときには、電池の⊕、⊖に注意して正しく入れてください。新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜてご使用しないでください。乾電池は、充電しないでください。長い間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。液もれしたときは、リモコンについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

### お願い

変色や変形、故障の原因になりますので本機を科学ぞうきん、ベンジンやシンナーなどの有機溶剤で絶対にふかないでください。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を布につけ、よく絞ってからふいて、その後乾いた柔らかい布で水分をふきとってください。水洗いは絶対にしないでください。

本機を落としたり、ぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A

### 登録商標について

- Windows 2000、Windows XP は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、iMac は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- IBM PC、XGA、SVGA、VGA は、International Business Machines Corporation の登録商標です。

## FCC による注意 (Class A)



本装置は FCC 規則 Part 15 に適合しています。動作は次の 2 つの条件を満たしています: (1) 本装置は有害な干渉を引き起こすことはない。(2) 本装置は誤動作の原因となる干渉を含むいかなる干渉も受信してはならない。

### 米連邦通信委員会声明

注意- 本装置は FCC 規則 Part15 に従う Class A のデジタルデバイスの制限値に適合していることがテストにより確認されています。それらの制限は装置を住居環境で使用した場合に有害な干渉の発生を適度に防止することを目的としています。本装置は無線周波エネルギーを発生、使用、および放出しています。指示に従って設置または使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。しかし、特定の設置によって干渉が発生しないという保証はありません。本装置によってラジオまたはテレビ受信に装置の ON/OFF によって確認できる有害な干渉が発生した場合、ユーザーは以下のいずれか、または複数の対策を講じてください:

- 受信アンテナの向きまたは場所を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店やラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。

### Class A ITE:

Class A ITE は、Class B ITE の限度値を満足せず、Class A ITE の限度値を満足する上記以外の ITE です。それらの装置の販売は制限されませんが、使用に関しては以下の警告に留意する必要があります。

**警告-** これは Class A 製品です。本製品を室内で使用すると無線干渉を引き起こすことがあり、使用者には適切な手段を講じるよう求められることがあります。

### CE Class A (EMC)



本製品は電磁気両立性指令 2004/108/EEC に関する加盟諸国の法律の近似化の議会指令で制定された条件に適合していることが確認されています。

**警告-** これは Class A 製品です。本製品を室内で使用すると無線干渉を引き起こすことがあり、使用者にはこの干渉を解消する適切な手段を講じるよう求められることがあります。

### 免責

本書の内容、品質、商品性、特定の目的への適合性に関して、明示的か暗黙かを問わず、いかなる保証または責任を放棄します。本書が提供する情報の信頼性は慎重に確認されていますが、正確性に欠いたとしても一切責任を負いません。本書に含まれる情報は予告なしに変更されることがあります。

AVer は、本製品または本書の使用または不使用によって発生したいかなる直接的、間接的、特別の、付随的、または結果的な損害に対して、たとえこのような損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、一切責任を負いません。

### 商標

AVerVision は AVer Information 社の登録商標です。IBM PC は IBM 社の登録商標です。Macintosh は Apple Computer 社の登録商標です。Microsoft および Windows はそれぞれ Microsoft 社の登録商標および商標です。本書に記載されている他のすべての製品名または会社名は認証および説明目的のためだけで、各社の商標または登録商標となっている場合があります。

### 著作権

© 2011 by AVer INFORMATION, Inc. 全権留保。本書の一部または全部を AVer Information 社の文書による許可なしに、いかなる手段でも、再発行、転送、検索システムへ保存、他の言語へ翻訳することを禁止します。



ゴミ箱のマークは、他の家庭用廃棄物と一緒に本製品を廃棄してはならないことを示しています。不要になった電気および電子装置は指定された方法での処分が必要です。リサイクルに関する詳しい情報は、家庭用廃棄物処理サービスセンターまたは製品を購入した販売店にお問い合わせください。

### 電池の安全取扱い注意事項

- 高温多湿の場所では保管しないで下さい。
- 使用済み電池は一般ゴミとして処分しないで下さい。特定の回収所や販売店までお持ち下さい。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り外して下さい。液漏れやさびでリモコンが損傷することがありますので、使用済みの電池も必ず取り外して下さい。
- 古い電池と新しい電池の混用は避けて下さい。
- 異なった種類の電池の混用は避けて下さい。アルカリ、標準品（亜鉛カーボン）あるいは充電電池（ニッケルカドミウム）等。
- 電池を火の中に投入しないで下さい。破裂や液漏れをおこすおそれがあります。
- 電池の分解や改造は絶対に行わないで下さい。

### リモコンのレーザーに関する注意事項

**警告:** リモコンのレーザーボタンを押すと、レーザービームが照射されます。リモコンの前面に目をやらないでください。また、レーザーを人や鏡に向けしないでください。

## 目次

製品紹介 .....	1
パッケージ内容 .....	1
オプションのアクセサリ.....	1
<b>AVerVision AV-SPB350+ の各部 .....</b>	<b>2</b>
<b>各部の接続 .....</b>	<b>3</b>
VGA、Mac ディスプレイモニタ、LCD/DLP プロジェクタとの接続 .....	4
DVI インタフェース搭載の VGA モニタや LCD/DLP プロジェクタとの接続.....	5
テレビへの接続.....	5
電源アダプタの接続.....	6
パソコンとの接続.....	6
パソコンとの USB 接続.....	6
SD カードの着脱 .....	7
<b>AV-SPB350+の設定 .....</b>	<b>7</b>
アーム.....	7
カメラヘッド.....	7
LED ランプ .....	8
赤外線センサー .....	8
ライトボックス.....	8
反射防止シート .....	8
顕微鏡への接続 .....	9
コントロールパネルの光の色 .....	9
<b>赤外線リモコンの使用法 .....</b>	<b>10</b>
<b>タッチボタン式コントロールパネル.....</b>	<b>12</b>
<b>AVerVision AV-SPB350+ をマストレージとして使用する.....</b>	<b>13</b>
<b>OSD のナビゲーションツリー.....</b>	<b>14</b>
<b>メニュー機能 .....</b>	<b>15</b>
<b>仕様.....</b>	<b>17</b>
<b>RS-232C 接続図 .....</b>	<b>18</b>
<b>RS-232C ケーブルの仕様 .....</b>	<b>19</b>
<b>RS-232C の転送仕様 .....</b>	<b>19</b>
<b>RS-232C 通信形式.....</b>	<b>19</b>
送信コマンドフォーマット.....	19
設定値フォーマット .....	20
取得値フォーマット .....	20
<b>トラブルシューティング.....</b>	<b>21</b>
<b>保証について .....</b>	<b>21</b>

## 製品紹介

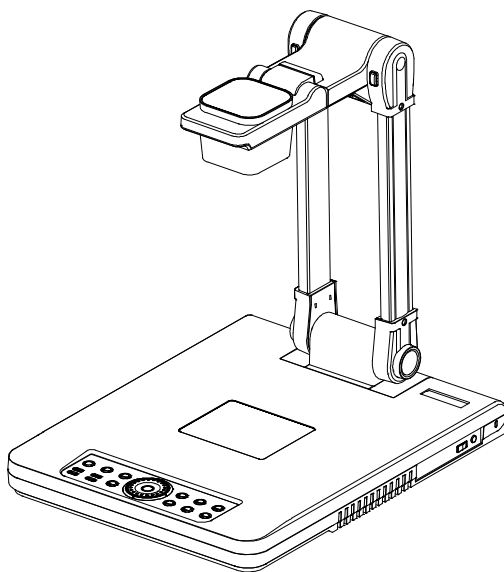
AVerVision AV-SPB350+ をお買い上げいただきありがとうございます。このインタラクティブな書画カメラは資料、ネガ、スライドおよび 3D オブジェクトを簡単にテレビやモニター、プロジェクターで表示することができます。

AVerVision AV-SPB350+ は幅広い用途に対応した高性能製品です。光学ズームと AVer の特許技術である AVERZOOM との組み合わせによって優れた強力なズーム機能を搭載しております。

AVERZOOM™ は、光学ズーム画質を維持したまま、デジタル拡大やパン撮りを可能にします。内蔵メモリあるいは SD メモリカードに静止画像を保存することができ、USB 経由でコンピュータと繋がり、付属ソフトウェアにより、静止画像や動画映像を直接に取り込み、保存することができます。さらに、付属のリモコンで、すべての操作を実行することができます。

## パッケージ内容

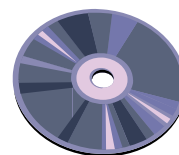
AVerVision AV-SPB350+ のパッケージには以下のアイテムが同梱されています：



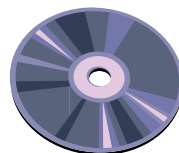
AVerVision SPB350+



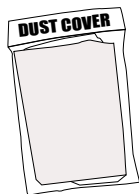
リモコン(電池を含む)



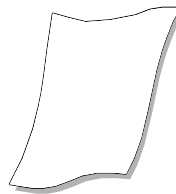
マニュアル CD



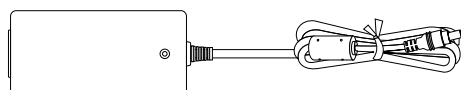
ドライバ CD



ダストカバー



反射防止シート



電源アダプタ



電源コード



RCA ケーブル



Sビデオケーブル



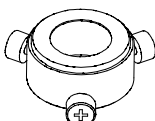
RGB ケーブル



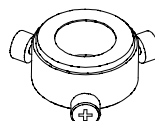
USB ケーブル

\* 電源コードは販売国の電源コンセントの規格により異なります。

## オプションのアクセサリ



34mm 顕微鏡アダプタ

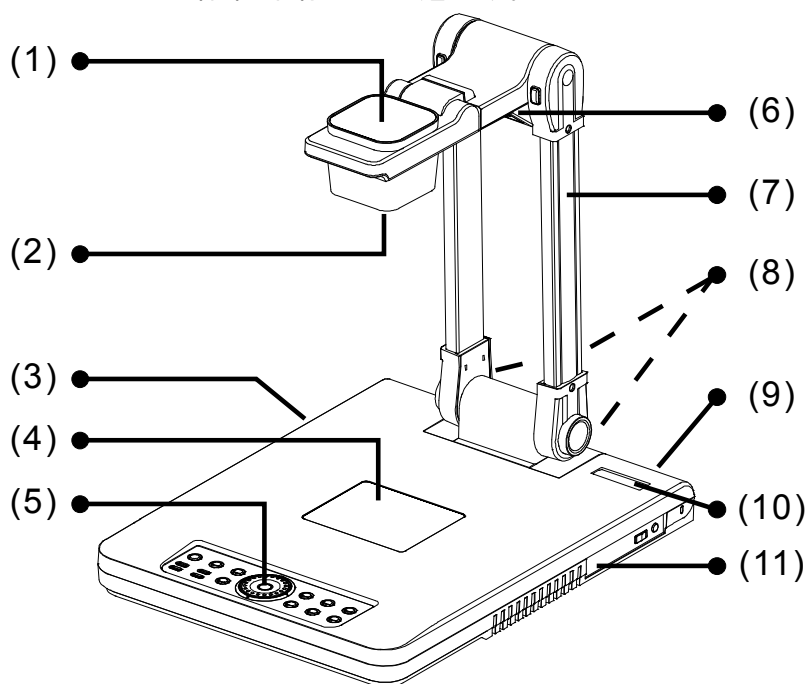


28mm 顕微鏡アダプタ

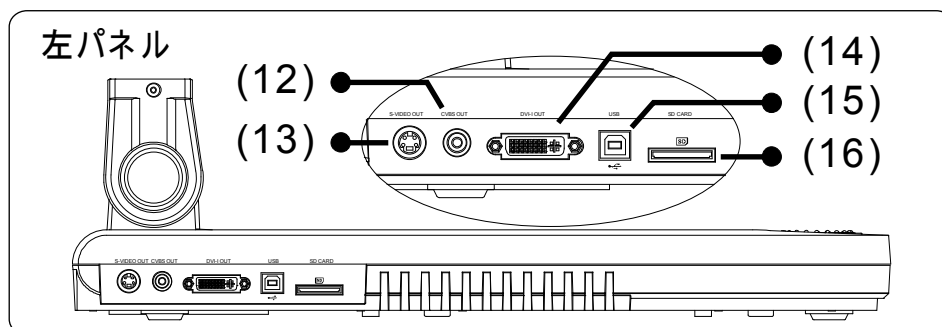
## AVerVision AV-SPB350+ の各部

AVerVision AV-SPB350+各部の名称は下図の通りです。

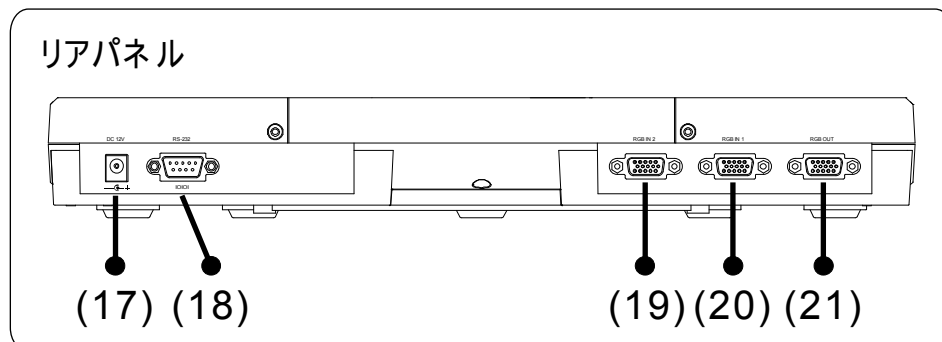
1. カメラヘッド
2. カメラレンズ
3. 左パネル
4. ライトボックス
5. コントロールパネル
6. LED ランプ
7. アーム
8. IR センサー
9. リアパネル
10. ラベルスロット
11. 右パネル



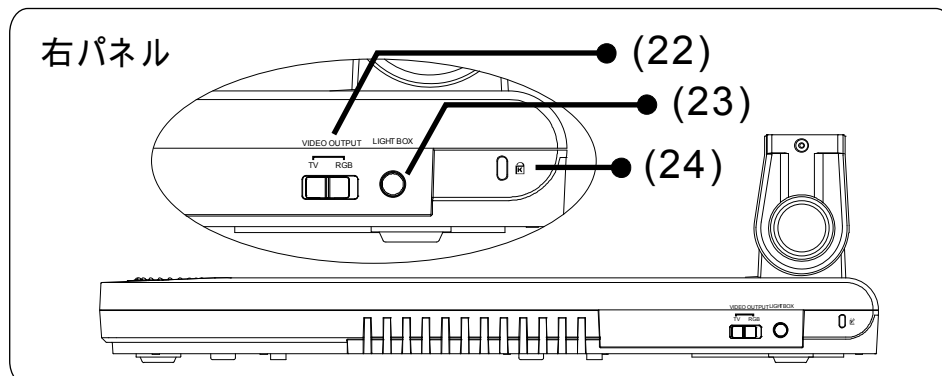
12. CVBS 出力端子 (RCA/コンポジット)
13. S-ビデオ出力端子
14. DVI-I 出力端子
15. USB 端子
16. SD カードスロット



17. DC 12V 端子
18. RS-232 端子
19. RGB 入力2
20. RGB 入力1
21. RGB 出力端子



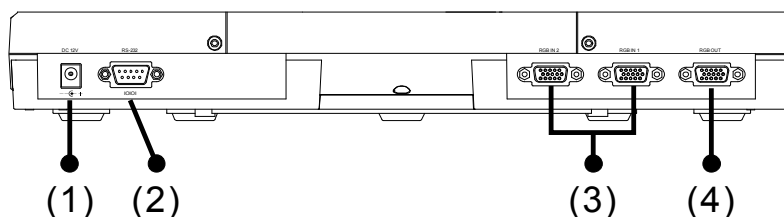
22. ビデオ出カスイッチ
23. ライトボックス電源ボタン
24. 盗難防止用スロット



## 各部の接続

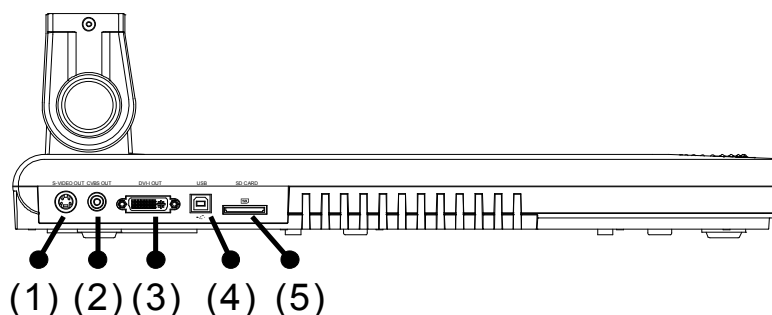
AV-SPB350+ のリア、左右のパネルにある端子により、本体はパソコン、モニター、LCD/DLP プロジェクター、テレビまたはその他のデバイスに接続することができます。以下の図は、AV-SPB350+ のリア、左、右パネルに位置する端子と対応するラベルです。

### リアパネル



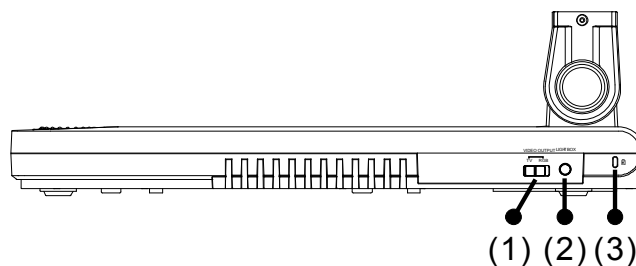
端子	説明
(1) DC 12V 端子	: 電源アダプタを接続します。
(2) RS-232 端子	: コンピュータからのコマンドを受け取り、AV-SPB350+ を操作します。この端子をコンピュータの RS-232 端子に接続します。
(3) RGB 入力 1 & RGB 入力 2 端子	: コンピュータまたは他のソースの信号を入力とし、それを RGB 出力および DVI-I 端子にのみつなぎます。この端子をコンピュータの VGA 出力端子に接続します。
(4) RGB 出力端子	: カメラ、RGB 入力端子からの信号、VGA/Mac モニターまたは LCD/DLP プロジェクターのメモリソースからのキャプチャ済み画像を出力します。

### 左パネル



端子	説明
(1) S-ビデオ出力端子	: カメラからの信号、または、メモリからの撮影した画像をテレビやビデオ装置に出力します。
(2) CVBS 出力端子 (RCAコンポジット)	: カメラからの信号、または、メモリからの撮影した画像をテレビやビデオ装置に出力します。
(3) DVI-I 出力端子	: カメラ、RGB 入力端子からの信号、または DVI-I インターフェースを持つ VGA/Mac モニターまたは LCD/DLP プロジェクターのメモリソースからのキャプチャ済み画像を出力します。ディスプレイデバイスが DVI-I をサポートしない場合、カメラとキャプチャ済み画像の信号のみ表示します。
(4) USB 端子	: AV-SPB350+ を USB カメラまたはマストレージとして使用すると、AV-SPB350+ 内蔵メモリに保存された画像を PC に転送します。
(5) SD カードスロット	: SD カードはラベルを上に向けて挿入します。製品は、16MB~2GB のカード容量をサポート可能で、FAT16 フォーマット済みカードのみ許容します。

## 右パネル



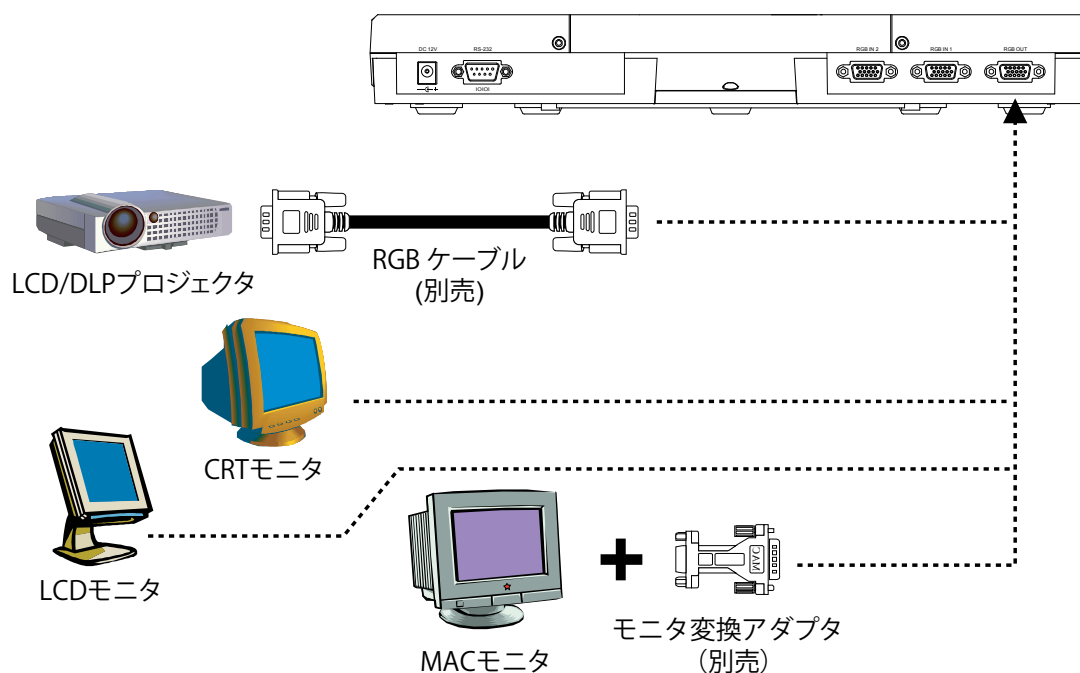
端子	説明
(1) ビデオ出カスイッチ	: ビデオ信号を出力するのに、RGB (RGB & DVI-I) または TV (コンポジットビデオ/S ビデオ) 出力を選択します。
(2) ライトボックス電源ボタン	: ライトボックスのライトをオン/オフします。
(3) 盗難防止用スロット	: Kensington 互換セキュリティロックまたは盗難防止用デバイスを接続します。

## VGA、Macディスプレイモニター、LCD/DLPプロジェクタとの接続

ディスプレイデバイスの RGB (VGA) 入力端子の位置を確認して、AV-SPB350+ の RGB 出力端子に接続します。位置が分からない場合は、デバイスのユーザーマニュアルを参照してください。



ビデオ出カスイッチが RGB に設定されていることをご確認ください。

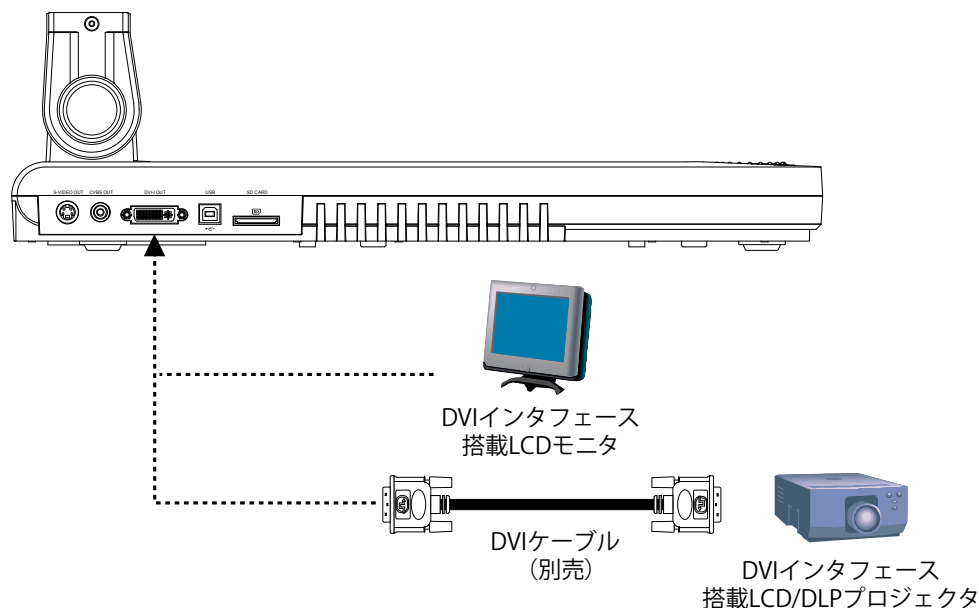


## DVIインターフェイス搭載のVGAモニターやLCD/DLPプロジェクタとの接続

ディスプレイ装置の DVI 入力端子を AV-SPB350+ の DVI-I 出力端子に接続します。場所がわからない場合、デバイスのユーザーマニュアルを参照してください。



ビデオ出力スイッチが RGB に設定されていることをご確認ください。

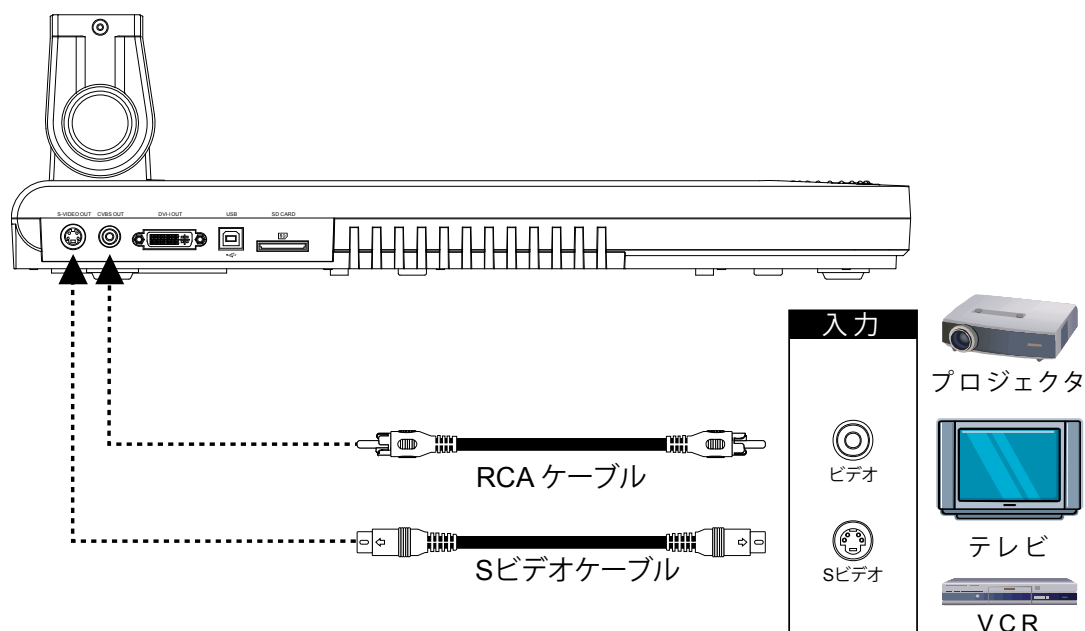


## テレビへの接続

テレビや、プレゼンテーションをビデオテープに録画するためのビデオ装置 (VCR など) のビデオ、S ビデオ、または、SCART RGB 入力端子の位置を確認し、AV-SPB350+ の S ビデオ出力端子または CVBS 出力端子に接続します。位置がわからない場合は、テレビやビデオ装置のユーザーマニュアルを参照してください。

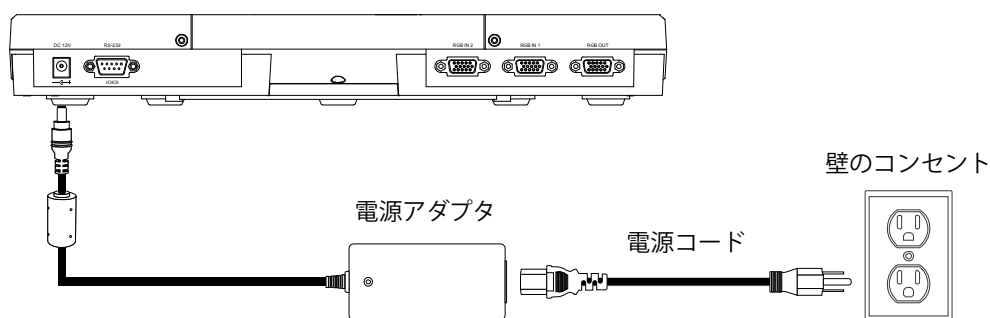


- ビデオ出力スイッチが TV に設定されていることをご確認ください。
- 高品質のビデオ画像を得るため、S-ビデオ接続を使用されるよう強くお勧めします。



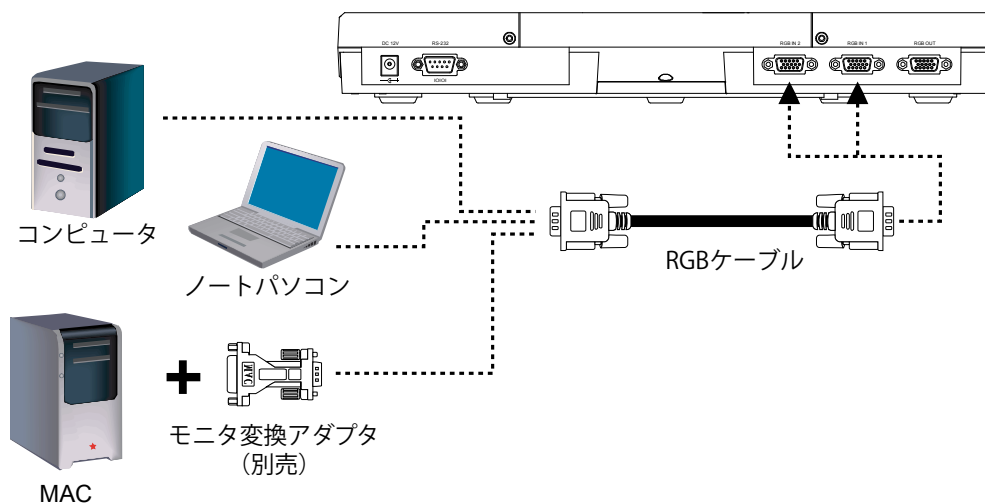
## 電源アダプタの接続

電源アダプタを標準の 100V～240V AC 電源に接続します。



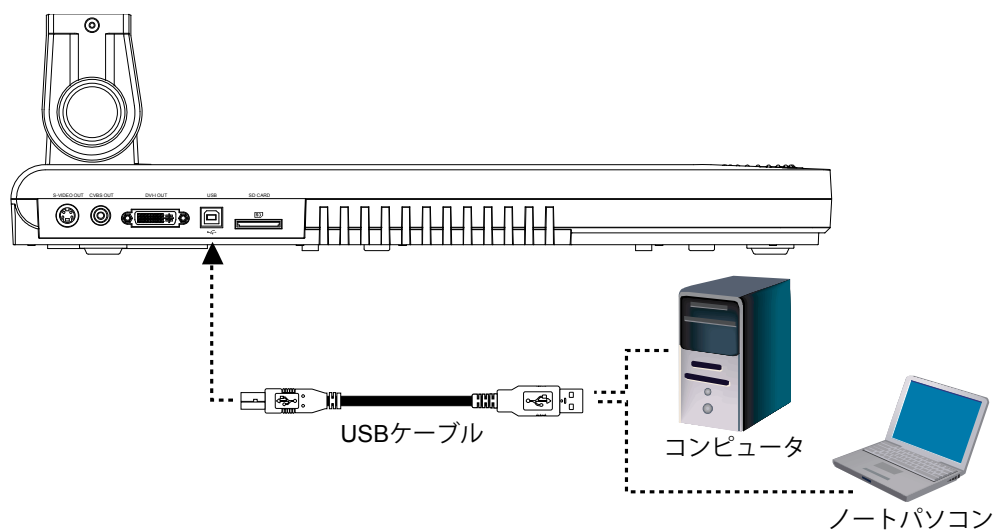
## パソコンとの接続

パソコンの RGB (VGA) 出力端子を AV-SPB350+ の RGB 入力 1 または RGB 入力 2 端子に接続します。RGB 入力端子からのビデオ信号は RGB と DVI-I 出力端子にのみ流れ、コントロールパネルの CAMERA/PC ボタンまたはリモートを押すと PC-1 または PC-2 モードに切り換わります。



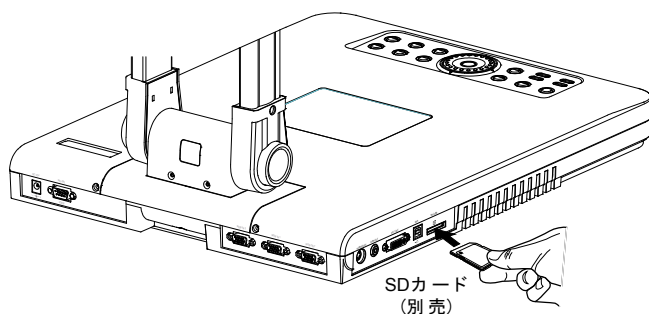
## パソコンとのUSB接続

パソコンの USB 端子と AV-SPB350+ の USB 端子を接続します。これにより AV-SPB350+ を USB カメラとして使用し、キャプチャ済み画像をメモリソースからコンピュータへ転送することが可能になります。また、「AVerVision AV-SPB350+をマストレージとして使用する」を参照してください。



## SDカードの着脱

カードのラベル側を上にした状態で挿入します。取り外すには、カードを引き抜きます。サポートする SD カード容量は 16MB から 2GB までです。カードが FAT16 にフォーマットされていることを確認してください。AV-SPB350+ は画像を AVERJPG フォルダに自動的に作成、保存します。

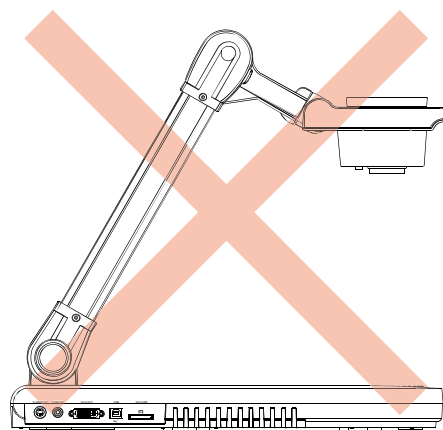
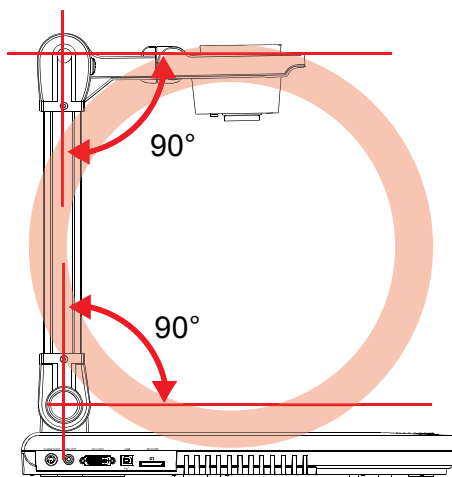


## AV-SPB350+の設定

AV-SPB350+の設定に関する基本事項をご確認下さい。

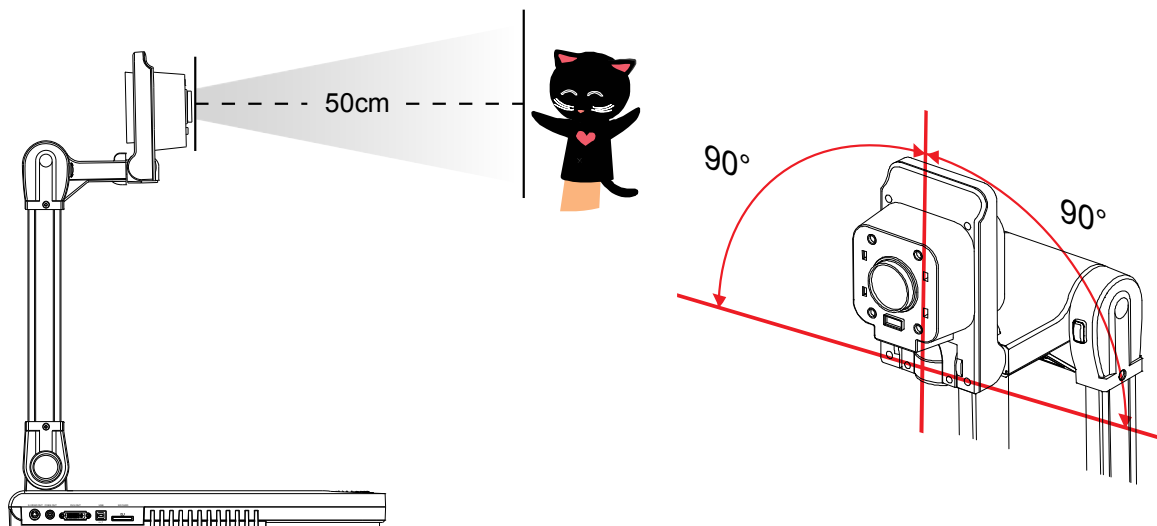
### アーム

アームは、直立状態では完全に伸ばして下さい。



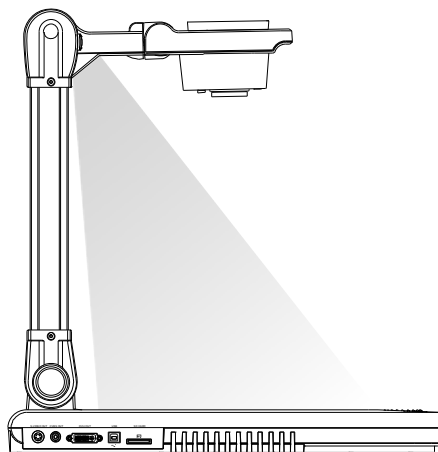
### カメラヘッド

カメラヘッドは 90° 曲がり、左右に 90° 回転させることができます。カメラから 50cm 以上離れた場所にあるオブジェクトを表示するには、クローズアップレンズを緩めます。後でクローズアップレンズを締め直すことを忘れないでください。



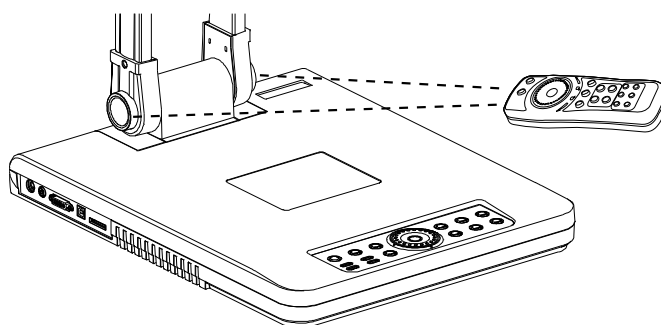
## LEDランプ

コントロールパネル上の LAMP (ランプ) ボタンを押すと、ライトのオン/オフが切り換えます。



## 赤外線センサー

リモコンは赤外線センサーに向けて操作してください。



## ライトボックス

AV-SPB350+ の一右パネルにある LIGHT BOX ボタンを押すと、ライトがオン・オフします。これを使ってネガフィルム、および 35mm スライドを表示します。

 : ライトボックスの上には 8kg 以上の重量物を置かないでください。



軽量物



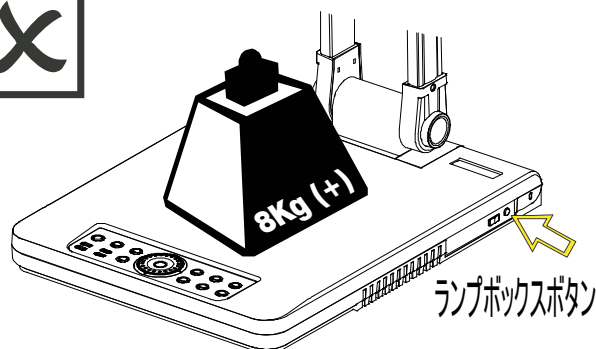
写真



ネガフィルム

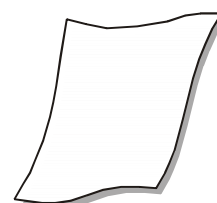


書類



## 反射防止シート

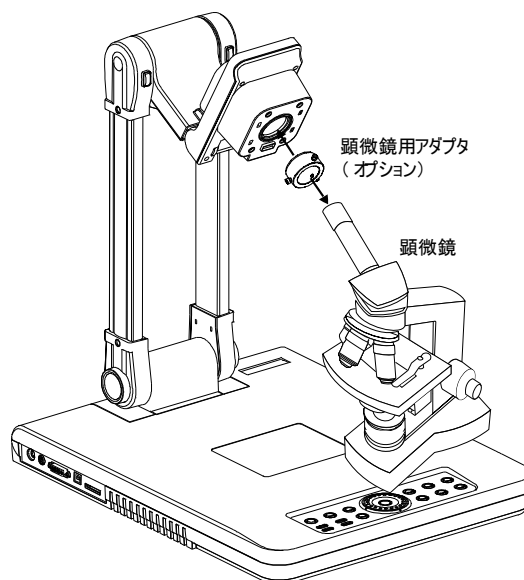
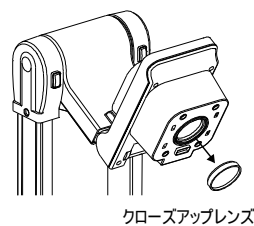
反射防止シートは特殊コーティングされたシートです。このシートで、雑誌や写真など、光沢のあるオブジェクトや表面を表示する場合の反射を遮ります。光沢のある書類の上に反射防止シートを乗せるだけで、反射を遮ることができます。



## 顕微鏡への接続

AV-SPB350+ を顕微鏡に接続することで、大画面で楽にオブジェクトを観察することができます。

1. 画像表示モードを顕微鏡に切り換えます。MENU を押し > SETTING (設定) > MODE (モード) > MICROSCOPE (顕微鏡) の順に選択し、ENTER を押します。
2. 顕微鏡の焦点を調整します。次に顕微鏡接眼レンズに合ったアダプタサイズを選択します。
3. カメラヘッドのクローズアップレンズを緩めます。
4. 顕微鏡から顕微鏡接眼レンズを取り外し、顕微鏡アダプタに接続します。次に、アダプタが接眼レンズに固定されるまで、3つのボルトを締め付けます。



より良い画像をみるには、15.5mm 以上眼を離して顕微鏡を使用するようお勧めします。

5. 顕微鏡アダプタを AVerVision カメラヘッドに取り付け、顕微鏡に接続します。

## コントロールパネルの光の色

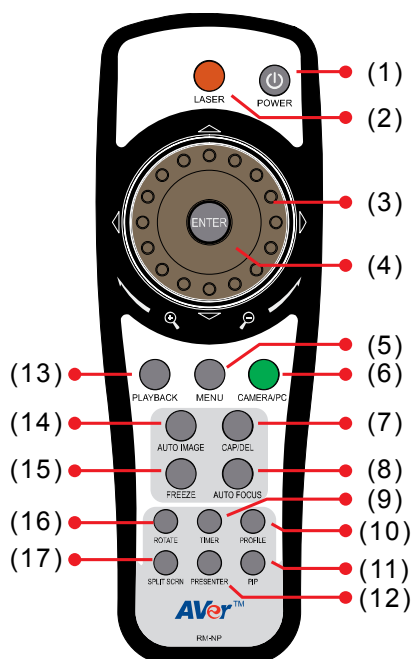
AV-SPB350+のコントロールパネルのLEDは本体の状態を表示します。



色	説明
青	本体は動作モード
オレンジ	本体はスタンバイモード

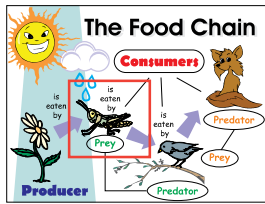
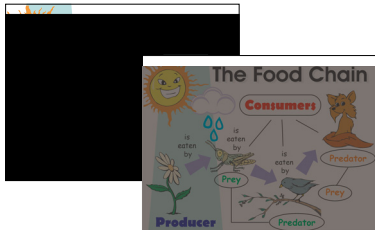
## 赤外線リモコンの使用法

AV-SPB350+リモコンを使えば、3 種類のプレゼンテーションモードを切り替えたり、様々な機能にアクセスしたりできるので、プレゼンテーションの品質を向上できます。リモコンを使用する前に、リモコン背部のバッテリーコンパートメントに電池(単 4 電池 2 本)を挿入します。リモコンの機能については以下の図と説明を参照してください。



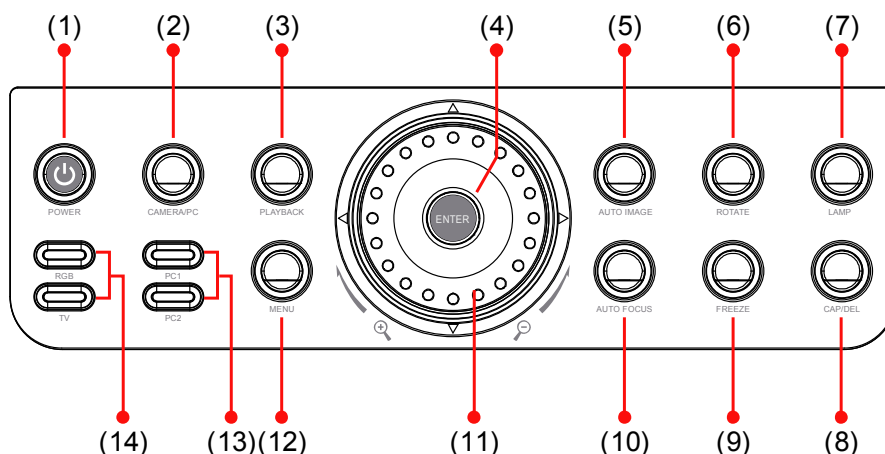
名称	機能
(1) POWER	本体のオン/オフを切り換えます。
(2) Shuttle Wheel	<ul style="list-style-type: none"> <li>- カメラまたは再生モードで、シャトルホイールを時計回りに回すと画像は光学・デジタル拡大し、反時計回りに回すと縮小します。</li> <li>光学ズームレベルの約 12 倍を超えても、AVer Zoom で更に 1.66 倍、デジタルズームで 8 倍まで表示可能です。ENTER を押すと、ノーマル表示 (100%) に戻ります。ズームパーインジケータが青から水色に変わり、画像のパンが可能になります。</li> <li>- ズームインモードで、シャトルホイール ▲、▼、◀、▶ を押して画像をパンしたり、再生モードで、16 サムネイル画像の選択や、次や前のシングルフルスクリーンプレビューへ移動、または、OSD メインメニューやサブメニューで選択したり、調整します(詳細については、「メニュー機能」を参照してください)。</li> </ul>

名称	機能
(3) ENTER	カメラモードでは、再生モードと OSD メニューから瞬時に 200% 拡大、デフォルトに対応します。
(4) MENU	プルアップして、OSD のメインメニューおよびサブメニューを終了します。
(5) Camera/PC	カメラモードと PC モードを切り換えます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- カメラモードは、内蔵カメラからのビデオ信号を表示します。</li> <li>- PC モードは AV-SPB350+ の RGB 入力 1 および RGB 入力 2 ポートからのビデオ信号を表示します。PC1 と PC2 は RGB 入力 1 および RGB 入力 2 からのビデオ信号をそれぞれ表示します。</li> </ul>
(6) CAP/DEL	<ul style="list-style-type: none"> <li>- カメラモードで、静止画像を撮影します。撮影した画像は内蔵メモリに 1600 x 1200 解像度で保存されます。最大 240 枚の画像まで保管できます。</li> <li>- 再生モードで、選択した画像を内蔵メモリから永久に削除します。</li> </ul>
(7) AF (Auto Focus)	焦点を自動的に調整します。
(8) TIMER	OSD タイマーメニューを表示させ、▲または▼ボタンを使用して SET TIME を選択すると、時間値を設定します。START ではカウントダウンタイマーが開始し、PAUSE/RESUME では一時停止または続行し、STOP で終了します。MENU を押すと、タイマーメニューを隠します。
(9) PROFILE	保存した 3 種類のユーザー設定プロフィールを呼び出したり、切り替えたりできます。(詳しくはメニュー機能 - 保存を参照してください。)
(10) PIP	カメラモードでメモリスソースのキャプチャ画像のサムネイルを画面の隅に表示/非表示します。 ◀または▶ボタンを使って、直前または次の画像に移動してから、ENTER を押すと、画像がフルスクリーンで表示されます。ミニ再生画面を四隅に移動するには、MENU を押して PIP に進んでから、ミニ再生画面の位置を選択します。

名称	機能
(11) PRESENTER	<p><b>SPOTLIGHT</b> または <b>VISOR</b> をオンまたはオフにするのに使用します。一度に使用できるのは 1 つの機能だけです。</p> <p><b>SPOTLIGHT</b> はプレゼンテーション画面のフレームを上書きします。  <b>SHADE</b> (シェード) はボックスの外部エリアの不透明度を 0%、50%、100% に、<b>COLOR</b> (カラー) はフレームの色を赤、緑、青に、<b>RESIZE</b> (リサイズ) はフレームのサイズをそれぞれ変更できます。プレゼンテーション画面の回りのフレームのサイズを変更したり、フレームを削除するには、シャトルホイールの ▲、▼、◀、▶ を押します。</p>  <p><b>VISOR</b> はプレゼンテーション画面の一部を隠します。呼び出すたびに、画面の上部が少しずつ現れます。隠れた部分を表示するには、シャトルホイールの ▲、▼、◀、▶ を押します。  <b>SHADE</b> (シェード) を選択すると、影の濃さを 50% から 100% の間で変更できます。</p> 
(12) PLAYBACK	<p>再生モードはメモリソースのキャプチャ済み画像を 16 の参照画像で表示します。▲、▼、および ◀ &amp; ▶ ボタンを使用して、またはシャトルホイールを回転させて選択を行い、<b>ENTER</b> を押すと選択した画像を全画面表示します。</p> <p><b>MENU</b> を押すと再生メニューを表示します。<b>SLIDE SHOW</b> (スライドショー) を選択すると、スライドショーを開始するか、またはフレーム間の時間間隔を秒単位で設定します。<b>MEMORY SOURCE</b> (メモリソース) では内蔵メモリまたは SD カードの画像を選択し、<b>DELETE</b> (削除) でメモリソースの選択した画像を消去します。</p>
(13) AUTO IMAGE	ホワイトバランスと露出設定を自動的に調整・設定します。
(14) FREEZE	カメラの一時停止と再開を切り換えます。
(15) ROTATE	カメラモードでは画像は 90° に、全画面再生モードでは 180° に回転します。
(16) SPLIT SCRIN	<p>画面分割モードをオン/オフにします。画面分割は画面を 2 分割します。一方に AV-SPB350+カメラのライブ画像を表示し、他方にメモリソースのキャプチャ画像を 8 サムネイルプレビューで表示します。</p> <p>画面分割モードでは、▲、▼、◀、▶ ボタンを使って選択し、<b>ENTER</b> を押すと、選択した画像が拡大されます。拡大画像を水平または垂直にパンするには、◀および▶または▲および▼ボタンを使用します。画面分割の種類を変更するには、<b>MENU</b> を押して、<b>SPLIT SCREEN</b> に進んでから、垂直または水平の分割タイプを選択します。</p>

## タッチボタン式コントロールパネル

AV-SPB350+の上部に配置されているタッチボタン式コントロールパネルを使えば、一般的な機能に素早くアクセスできます。



名称	機能
(1) POWER	本体のオン/オフを切り換えます。
(2) Camera/PC	カメラモードと PC モードを切り換えます。 - カメラモードは、内蔵カメラからのビデオ信号を表示します。 - PC モードは AV-SPB350+ の RGB 入力 1 および RGB 入力 2 ポートからのビデオ信号を表示します。PC1 と PC2 は RGB 入力 1 および RGB 入力 2 からのビデオ信号をそれぞれ表示します。
(3) PLAYBACK	再生モードはメモリスourcesのキャプチャ済み画像を 16 の参照画像で表示します。▲、▼、および ◀ & ▶ ボタンを使用して、またはシャトルホイールを回転させて選択を行い、ENTER を押すと選択した画像を全画面表示します。 MENU を押すと再生メニューを表示します。SLIDE SHOW (スライドショー) を選択すると、スライドショーを開始するか、またはフレーム間の時間間隔を秒単位で設定します。MEMORY SOURCE (メモリスources) では内蔵メモリまたは SD カードの画像を選択し、DELETE (削除) でメモリスourcesの選択した画像を消去します。
(4) ENTER	カメラモードでは、再生モードと OSD メニューから瞬時に 200% 拡大、デフォルトに対応します。
(5) AUTO IMAGE	ホワイトバランスと露出設定を自動的に調整・設定します。
(6) ROTATE	カメラモードでは画像は 90° に、全画面再生モードでは 180° に回転します。
(7) LAMP	LED ランプをオン/オフします。
(8) CAP/DEL	- カメラモードで、静止画像を撮影します。撮影した画像は内蔵メモリに 1600 x 1200 解像度で保存されます。最大 240 の画像まで保管できます。 - 再生モードで、選択した画像を内蔵メモリから永久に削除します。
(9) FREEZE	カメラの一時停止と再開を切り換えます。
(10) AUTO FOCUS	焦点を自動的に調整します。
(11) SHUTTLE WHEEL	- カメラまたは再生モードで、シャトルホイールを時計回りに回すと画像は光学・デジタル拡大し、反時計回りに回すと縮小します。 光学ズームレベルの約 12 倍を超えても、AVer Zoom で 更に 1.66 倍、デジタルズームで 8 倍まで表示可能です。ENTER を押すと、ノーマル表示 (100%) に戻ります。ズームバーインジケータが青から水色に変わり、画像のパンが可能になります。 - ズームインモードで、シャトルホイール ▲、▼、◀、▶ を押して画像をパンしたり、再生モードで、16 サムネイル画像の選択や、次や前のシングルフルスクリーンプレビューへ移動、または、OSD メインメニューやサブメニューで選択したり、調整します (詳細については、「メニュー機能」を参照してください)。

名称	機能
(12) MENU	ブルアップして、OSD のメインメニューおよびサブメニューを終了します。
(13) PC1 and PC2 Indicator	選択された RGB 入力ビデオソースを RGB 入力 1 または RGB 入力 2 で表示します。
(14) Video Output LED Indicator	ビデオ信号が送出されるビデオ出力スイッチの設定を示します。

## AVerVision AV-SPB350+ をマストレージとして使用する

この機能を使用すると、メモリソースと PC の間でキャプチャ画像をやり取りできます。



USB ケーブルを接続する前に、以下の指示に**必ず**従ってください。

AV-SPB350+をマストレージとして使用する場合は常に以下の動作を**必ず**行ってください。

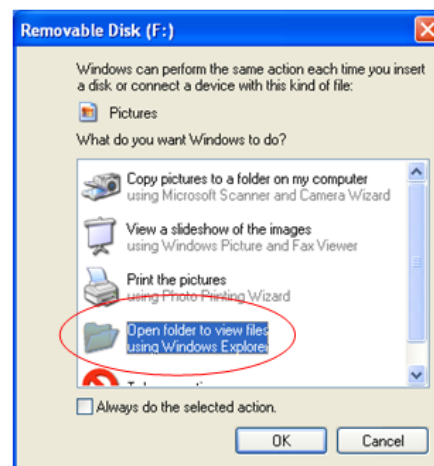
1. メモリソースを選択します。

メモリソースを選択するには、**MENU ボタン**を押して、**設定タブ > メモリー > 保存先選択 > 内蔵**または **SD** を選択して、**ENTER ボタン**を押します。その後、**MENU ボタン**を押すと、終了します。

2. USB 接続を**必ず**「マストレージ」に設定してください。

USB 接続を選択するには、**MENU ボタン**を押して、**設定タブ > USB 接続 > マストレージ**を選択してから、**ENTER ボタン**を押します。その後、**MENU ボタン**を押すと、終了します。

3. プレゼンテーション画面の左下に「ストレージ」のメッセージが表示されると、USB ケーブルを接続できます。（「USB 接続を使ってコンピュータに接続する」の図を参照してください。）
4. USB ケーブルを接続すると、PC 側で新しいリムーバブルディスクとして AV-SPB350+ を検出します。
5. 「リムーバブルディスク」のダイアログボックスでは、**フォルダを開いてファイルを表示する**を選択してから、**OK** をクリックします。これで、PC のハードディスクとファイルをやり取りできます。

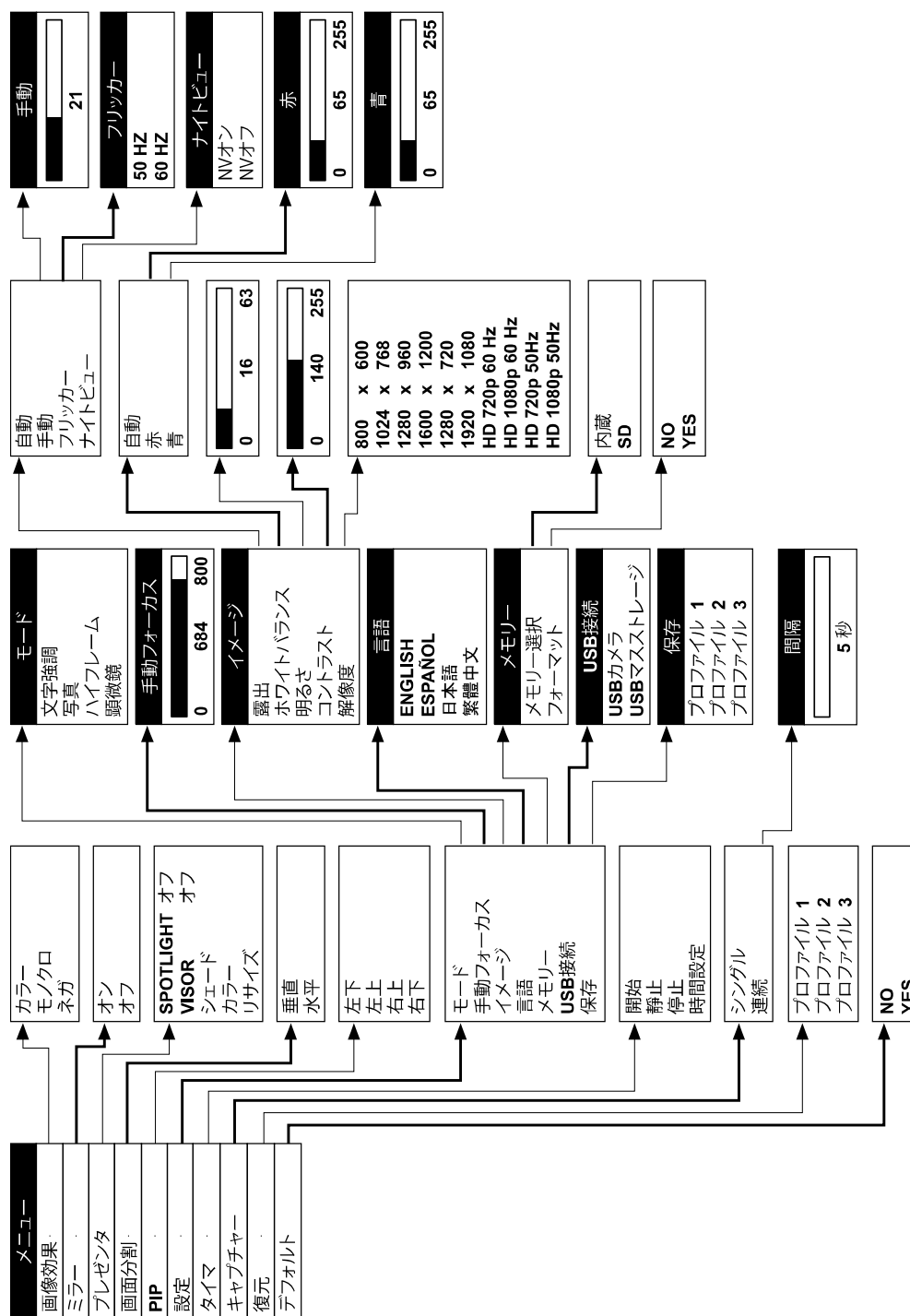


# OSDのナビゲーションツリー

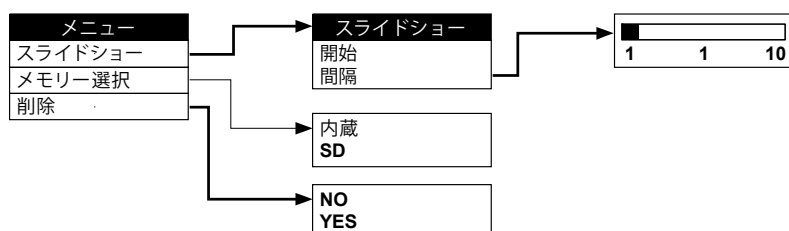
## ビデオ出力 OSD



ビデオ出力では、メニューリストに解像度は表示されません。

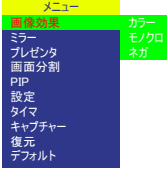
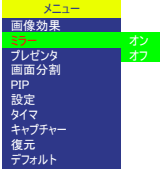

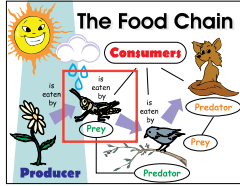
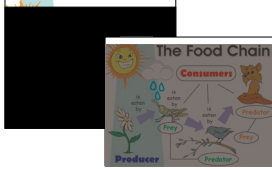
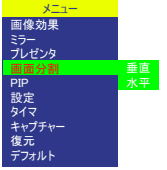
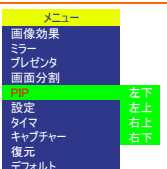


## 再生 OSD



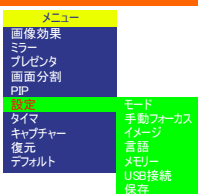
## メニュー機能

AV-SPB350+ の MENU(メニュー)機能で、画面表示の微調整の拡張、タイマーの設定、OSD 言語の選択などを行ないます。**MENU(メニュー)** ボタンを押して、メインメニュー表示やサブメニュー表示を呼び出したり終了します。次に **▲** ボタンまたは **▼** ボタンを使ってメニューリストの項目を選択します。**▶/ENTER(エンター)** ボタンを使ってサブメニューを開き、**◀/ENTER(エンター)** を使ってメインメニューに戻ります。設定を調整するには、**◀** ボタンまたは **▶** ボタンを押します。選択を確定するには **ENTER(エンター)** を押します。

OSD メニュー	説明
	<b>画像効果</b> カメラモードで、 <b>▶</b> を押し、 <b>▲</b> ボタンまたは <b>▼</b> ボタンを使って選択して、画像を <b>カラー</b> 、 <b>モノクロ</b> 、または <b>ネガ</b> で表示します。次に <b>▶/ENTER(エンター)</b> を押して選択を確定します。
	<b>ミラー</b> <b>▶</b> を押し、 <b>▲</b> または <b>▼</b> ボタンを使用して、 <b>ミラー</b> の <b>オン/オフ</b> を選択すると、カメラモードで画像を左右上下に方向転換します。それから <b>▶/ENTER</b> を押して選択を行います。
	<b>プレゼンタ</b> <b>▶</b> を押し、 <b>▲</b> または <b>▼</b> ボタンを使って <b>SPOTLIGHT</b> または <b>VISOR</b> を選択します。次に <b>▶/ENTER(エンター)</b> を押して選択を確定します。一度に使用できるのは 1 つの機能だけです。 <b>SPOTLIGHT</b> はプレゼンテーション画面のフレームをオーバーレイします。 <b>シェード</b> はボックスの外部エリアの不透明度を 0%、50%、100%に、 <b>カラー</b> はフレームの色を赤、緑、青に、 <b>リサイズ</b> はフレームのサイズをそれぞれ変更できます。プレゼンテーション画面の周りのフレームのサイズを変更したり、フレームを削除するには、シャトルホイールの <b>▲</b> 、 <b>▼</b> 、 <b>◀</b> 、 <b>▶</b> を押します。
	<b>VISOR</b> はプレゼンテーション画面の一部を隠します。呼び出すたびに、画面の上部が少しずつ現れます。隠れた部分を表示するには、シャトルホイールの <b>▲</b> 、 <b>▼</b> 、 <b>◀</b> 、 <b>▶</b> を押します。 <b>シェード</b> を選択すると、影の濃さを 50%から 100%の間で変更できます。
	
	<b>画面分割</b> <b>▶</b> を押し、 <b>▲</b> または <b>▼</b> ボタンを使って画面の垂直分割または水平分割を選択します。その後、 <b>▶/ENTER</b> を押し、選択が保存されます。 この機能は画面を 2 分割します。一方に AV-SPB350+カメラのライブ画像を表示し、他方にメモリスのキャプチャ画像を 8 サムネイルプレビューで表示します。 分割画面モードでは、 <b>▲</b> 、 <b>▼</b> 、 <b>◀</b> 、 <b>▶</b> ボタンを使って選択し、 <b>ENTER</b> を押し、選択した画像が拡大されます。拡大画像を水平または垂直にパンするには、 <b>◀</b> および <b>▶</b> または <b>▲</b> および <b>▼</b> ボタンを使用します。
	<b>PIP</b> <b>▶</b> を押し、 <b>▲</b> または <b>▼</b> ボタンを使ってミニ再生画面の位置を選択します。その後、 <b>▶/ENTER</b> を押し、選択が保存されます。 カメラモードでメモリスのキャプチャ画像のサムネイルを画面の隅に表示します。 <b>◀</b> または <b>▶</b> ボタンを使って、直前または次の画像に移動してから、 <b>ENTER</b> を押し、画像がフルスクリーンで表示されます。

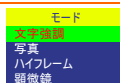
## OSD メニュー

## 説明



## 設定

▶ を押し、▲ ボタンまたは ▼ ボタンを使って 設定リストの項目を選択し、▶/ENTER(エンター)を押します。



## 設定 &gt; モード

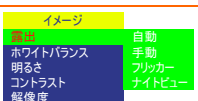
▲または▼ボタンを使って、**文字強調**、**写真**、**ハイフレーム**、**顕微鏡**を選択してから、ENTER を押しして選択を保存します。

- 文字強調で、隣接する画素の強度を修正して、全体的に鮮明でクリアな画像にします。
- 写真で、隣接する画素の変化度を調整し、スムーズな画像にします。
- ハイフレームで、フレームレートのキャプチャを増大させ、動作を視覚的に追跡して、機敏に反応させます。このモードを使用する場合は十分な光量が必要です。
- 顕微鏡で、光学ズームを自動的に固定し、顕微鏡画像をよりクリアに表示します。



## 設定 &gt; 手動フォーカス

◀または▶ボタンを使って、焦点を手動で調整してから、ENTER を押しして設定を保存し、終了します。



## 設定 &gt; イメージ &gt; 露出

▶ を押し、▲ ボタンまたは ▼ ボタンを使って、**自動**、**手動**、**フリッカー**、**ナイトビュー**から選択します。次に ENTER(エンター) を押しして選択を確定します。

**自動**を選択して、カメラの露出を自動調整し、必要な光の量を決めます。



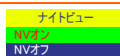
## 設定 &gt; イメージ &gt; 露出 &gt; 手動

◀または▶ボタンを使って、露出レベルを手動で調整してから、ENTER を押しして設定を保存し、終了します。



## 設定 &gt; イメージ &gt; 露出 &gt; フリッカー

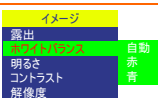
▲ ボタンまたは ▼ ボタンを使って 50Hz または 60Hz から選択します。ディスプレイデバイスによっては、高いリフレッシュレートに対応できません。出力を他のリフレッシュレートに切り替えると、画像が数回ちらつきます。



## 設定 &gt; イメージ &gt; 露出 &gt; ナイトビュー

▲ ボタンまたは ▼ ボタンを使って **ナイトビュー**を **オン**または**オフ**にします。

暗い場所でプレゼンテーションをする場合は、**ナイトビュー**を使って、オブジェクトの画像を通常の光条件のように表示できます。AV-SPB350+ は、露出を自動調整して条件が悪い場合に補正することができます。しかし、撮影した画像はスローモーションで表示されます。



## 設定 &gt; イメージ &gt; ホワイトバランス

▶ を押し、▶ ボタンまたは ◀ ボタンを使って、赤色と青色を自動または手動で調整して、光条件や色温度に合わせます。次に ▶/ENTER(エンター) を押しして選択を確定します。



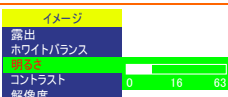
## 設定 &gt; イメージ &gt; ホワイトバランス &gt; 赤

▶ ボタンまたは ◀ ボタンを使って、赤色レベルを手動で調整し、次に ENTER(エンター) を押しして、設定を保存して終了します。



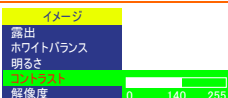
## 設定 &gt; イメージ &gt; ホワイトバランス &gt; 青

▶ ボタンまたは ◀ ボタンを使って、青色レベルを手動で調整し、次に ENTER(エンター) を押しして、設定を保存して終了します。



## 設定 &gt; イメージ &gt; 明るさ

▶ ボタンまたは ◀ ボタンを使って、輝度レベルを上げたり下げたりして、画像の見易さを改善します。輝度レベルは最大 ±63 まで調整できます。



## 設定 &gt; イメージ &gt; コントラスト

▶ ボタンまたは ◀ ボタンを使って、明るい条件と暗い条件の違いを強調したり低減します。コントラストレベルは最大 ±255 まで調整できます。

## OSD メニュー

## 説明



## 設定 &gt; イメージ &gt; 解像度

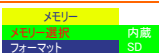
▶/ENTER (エンター) を押し、▲または▼ボタンを使ってディスプレイ解像度を選択してから、▶/ENTER (エンター) を押し選択を保存します。

この選択はテレビ出力 (コンポジット/S ビデオ) では使用できません。



## 設定 &gt; 言語

▲または▼ボタンを使って言語を選択してから、▶を押して選択を保存します。



## 設定 &gt; メモリー

▲または▼ボタンを使用すると、メモリー選択或いはフォーマット のどちらかを選択します。

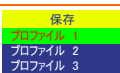
- メモリー選択 - カメラモードの画像ストレージか画像のソースを選択して、内蔵メモリーまたは SD カードのどちらかを再生モードで表示します。
- フォーマット - NO を選択すると終了し、YES を選択するとフォーマットしてメモリーのソースに保存されたすべての画像を削除します。それから ▶/ENTER を押します。プロセスを終えて「FORMAT」というメッセージが消えるまで、そのまま待ちます。



## 設定 &gt; USB 選択

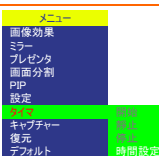
▲または▼ボタンを使って、USB 機能を USB カメラか USB マスストレージ のいずれかに指定します。

- USB カメラ は、コンピュータウェブカム、または、弊社のバンドルソフトウェアを使ってビデオレコーダーとして使用して、静止画像を撮影できます。
- USB マスストレージは、撮影した画像を内蔵メモリーからコンピュータのハードディスクに転送します。



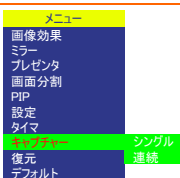
## 設定 &gt; 保存

▲または▼ボタンを使ってプロファイルスロットを選択してから、希望の設定を保存します。保存できるのは、効果、モード、輝度、コントラストの設定だけです。



## タイム

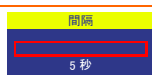
▲または▼ボタンを使って SET TIME に時間を設定します。開始を押すとカウントダウンを開始し、静止を押すと一時停止または再開し、停止を押すと終了します。



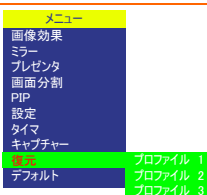
## キャプチャー

▶ を押し、▲ ボタンまたは ▼ ボタンを使って、シングルまたは 連続キャプチャーモードを選択します。次に▶/ENTER (エンター) を押し選択を確定します。

シングルに設定して、静止画像を 1 枚だけ保存します。連続に設定すると、内蔵メモリーがいっぱいになるか、または、CAP/DEL (キャプチャー/削除) ボタンをもう一度押して停止するまで、静止画像を連続して保存します。

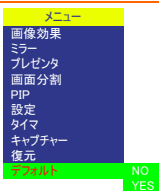


連続モードで、▶ ボタンまたは ◀ ボタンを押してフレームの撮影の間隔を長くしたり短くします。次に ENTER (エンター) を押し、設定を保存して終了します。間隔は 5 秒 ~ 600 秒の間に設定できます。



## 復元

▶ を押し、▲または▼ボタンを使ってリストから選択してから、保存した希望のユーザー設定プロファイル番号に変更し、▶/ENTER (エンター) を押し選択を保存します。



## デフォルト

▶ を押し、▲ ボタンまたは▼ボタンを使って YES (はい) を選択して元の工場出荷時デフォルト設定に復元します。終了するには NO (いいえ) を押します。▶/ENTER (エンター) を押し選択を確定します。

## 仕様

## 規格、機能

撮像素子	1/2.5" CMOS
画素カウント	500 万画素
フレームレート	30 フレーム/秒 (最大)
ホワイトバランス	オート/ マニュアル

露出(エクスポージャー)	自動/ 手動設定/ 地域設定/ ナイトビュー
テーマ	文字強調 / 写真 / ハイフレーム / 顕微鏡
エフェクト(効果)	カラー/ 白黒/ ネガ
アナログ RGB 出力	SVGA, XGA, SXGA, UGA, HD720p, HD1080p
S-ビデオ、コンポジットビデオ出力	NTSC
画像キャプチャー	最大 240 枚(2M)
内蔵メモリ	32MB NAND フラッシュメモリ

## 光学

撮影範囲	300mm x 225mm
AVer Optical Zoom	20x
デジタルズーム	8 倍

## 電源

電源	AC/DC100-240V, 50-60 Hz
消費電力	16 watts (点灯時); 13.6 watts (消灯時) 14.6 watts (ライトボックス ON)

## 照明

LED ランプ	LED ライト
ライトボックス	LED ライト

## 入力/出力

RGB 入力端子 (1 & 2)	15 ピン D-sub (VGA)
RGB 出力端子	15 ピン D-sub (VGA)
DVI-I 出力端子	DVI-I タイプ
S-ビデオ出力端子	Mini-DIN ジャック
Video	RCA ジャック
USB 端子	USB2.0
RS-232 端子	9 ピン D-sub

## 寸法

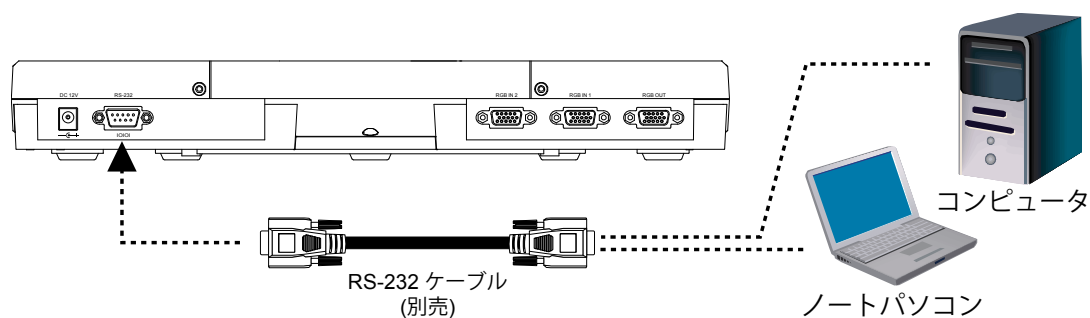
使用時	480mm x 380mm x 505mm
収納時	480mm x 380mm x 150mm
重量	5.6 kg (about 12.32 lb)

## 対応メモリーカード

Secure Digital (SD) カード	16MB~2GB
-------------------------	----------

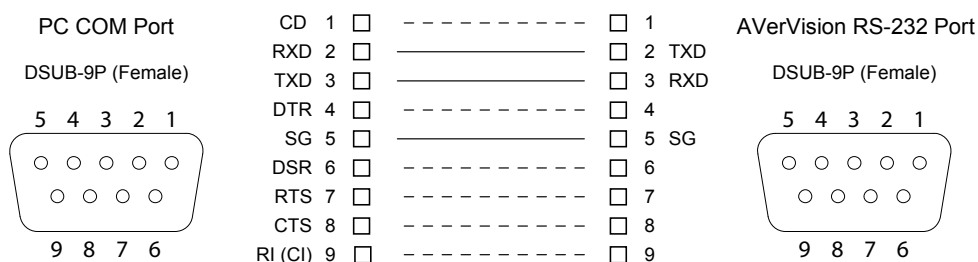
## RS-232C接続図

AV-SPB350+は RS-232 接続から PC を使ってコントロールできます。



## RS-232Cケーブルの仕様

RS-232C ケーブルがケーブル仕様に適合しているかどうか確認します。



## RS-232Cの転送仕様

- スタートビット : 1 ビット
- データビット : 8 ビット
- ストップビット : 1 ビット
- パリティビット : なし
- Xパラメータ : なし
- ボーレート (通信速度) : 9600bds

## RS-232C通信形式

### 送信コマンドフォーマット

送信フォーマット : 0x52 + 0x05 + 0x01 + Command + 0x53 + CheckSum

受信フォーマット : 0x53 + 0x00 + 0x01 + 0x05 + 0x53 + 0x57(ChkSum)

対応していないコマンド応答 : 0x53 + 0xFF + 0x01 + 0x05 + 0x53 + 0xA8

機能	データコード	チェックサムコード
MENU	0x08	0x5F
UP	0x03	0x54
DOWN	0x04	0x53
LEFT	0x05	0x52
RIGHT	0x06	0x51
ENTER / FULLSCREEN	0x02	0x55
CAMERA MODE	0x20	0x77
PLAYBACK MODE	0x07	0x50
PC-1 PASS THROUGH	0x21	0x76
PC-2 PASS THROUGH	0x22	0x75
LAMP ON	0x32	0x65
LAMP OFF	0x33	0x64
LIGHT BOX ON	0x34	0x63
LIGHT BOX OFF	0x35	0x62
AF	0x0D	0x5A
NEAR	0x30	0x67
FAR	0x31	0x66
ZOOM IN	0x2D	0x7A
ZOOM OUT	0x2E	0x79
ZOOM RESET	0x2F	0x78
FREEZE	0x0C	0x5B
ROTATE	0x0E	0x59
MIRROR	0x2C	0x7B
EFFECT	0x2B	0x7C
BRT UP	0x29	0x7E
BRT DOWN	0x2A	0x7D
AUTO IMAGE	0x0A	0x5D
TIMER	0x0F	0x58
PROFILE	0x10	0x47
CAPTURE / DELETE	0x0B	0x5C
SPLIT SCRNR	0x11	0x46

機能	データコード	チェックサムコード
PIP	0x13	0x44
SPOTLIGHT ON / OFF	0x23	0x74
VISOR ON / OFF	0x24	0x73
SPOTLIGHT COLOR	0x25	0x72
SPOTLIGHT RESIZE	0x26	0x71
SPOTLIGHT / VISORVISOR SHADE	0x27	0x70

## 設定値フォーマット

送信フォーマット：0x52 + 0x0B + 0x03 + Data[0] + Data[1] + Data[2] + 0x53 + CheckSum

受信フォーマット：0x53 + 0x00 + 0x01 + 0x0B + 0x53 + 0x59(ChkSum)

機能	データ[0]	データ[1]	データ[2]	チェックサムコード
Flicker 50Hz	0x00	0x00	0x00	0x5B
Flicker 60Hz	0x00	0x01	0x00	0x5A
Exposure Value	0x01	Value[0 ~ 95]	0x00	*1
WB Red Value	0x02	0x00	Value[0~255]	*1
WB Blue Value	0x02	0x01	Value[0~255]	*1
Brightness Value	0x03	Value[0 ~ 63]	0x00	*1
Contrast Value	0x04	Value[0 ~ 255]	0x00	*1
Rotate 0 degree	0x06	0x00	0x00	0x5D
Rotate 90 degree	0x06	0x01	0x00	0x5C
Rotate 180 degree	0x06	0x02	0x00	0x5F
Rotate 270 degree	0x06	0x03	0x00	0x5E
Effect Color	0x07	0x00	0x00	0x5C
Effect B/W	0x07	0x01	0x00	0x5D
Effect Negative	0x07	0x02	0x00	0x5E
Mode Text	0x08	0x00	0x00	0x53
Mode Graphics	0x08	0x01	0x00	0x52
Mode High Frame	0x08	0x02	0x00	0x51
Mode Microscope	0x08	0x03	0x00	0x50
SPLIT SCR N VERTICAL	0x0B	0x00	0x00	0x50
SPLIT SCR N HORIZONTAL	0x0B	0x01	0x00	0x51
PIP LOWER LEFT	0x0C	0x00	0x00	0x57
PIP UPPER LEFT	0x0C	0x01	0x00	0x56
PIP UPPER RIGHT	0x0C	0x02	0x00	0x55
PIP LOWER RIGHT	0x0C	0x03	0x00	0x54
CAPTURE SINGLE	0x0D	0x00	0x00	0x56
CAPTURE CONTINUOUS	0x0D	0x01	0x00	0x57

\*1 : CheckSum = 0x0B xor 0x03 xor Data[0] xor Data[1] xor Data[2] xor 0x53

## 取得値フォーマット

送信フォーマット：0x52 + 0x0A + 0x01 + Data[0] + 0x53 + CheckSum

受信フォーマット：0x53 + 0x0C + 0x01 + ReData[0] + 0x53 + ReCheckSum

機能	データ[0]	チェックサムコード	再データ[0]	再チェックサムコード
Red Value	0x02	0x5A	Value[0~255]	*1
Blue Value	0x03	0x5B	Value[0~255]	*1
Lamp Status	0x05	0x5D	0 : OFF 1: ON	*1
Display Status	0x06	0x5E	0: Camera Mode 1: Playback Mode 2: PC-1 Pass Through 3: PC-2 Pass Through	*1

機能	データ[0]	チェックサムコード	再データ[0]	再チェックサムコード
Video Output Status	0x07	0x5F	0: VGA 1: TV	*1
Freeze Status	0x08	0x50	0 : OFF 1: ON	*1
Brightness Value	0x0A	0x52	Value[0~63]	*1
Contrast Value	0x0B	0x53	Value[0~255]	*1
LIGHT BOX Status	0x0C	0x54	0 : OFF 1: ON	*1
*1 : ReCheckSum = 0x0C xor 0x01 xor ReData[0] xor 0x52				

## トラブルシューティング

このセクションでは、AV-SPB350+を使用しているときに生じる一般的な問題の解決に役立つ多くのヒントを提供します。

### プレゼンテーション画面に画像が表示されません。

1. 本書に表示されているようにすべてのコネクタが正しく接続されていることを確認してください。
2. ディスプレイ出力デバイス(プロジェクター、モニターやテレビ等)の電源が入っていますか。
3. ディスプレイ出力デバイス側の設定を確認してください。
4. ノートパソコンなどのコンピュータでは、RGB 出力の際に外部出力のための設定が必要な場合があります。コンピュータ側の設定が正しいことを確認してください。
5. 本体の TV/RGB 出力切替スイッチが正しく設定されていることを確認してください。

### コンピュータからプレゼンテーション画面に信号が送信されません。

コンピュータの電源を入れると、コンピュータはモニタのタイプを自動検出します。自動検出中は、プレゼンテーション画面には何も表示されません。この問題を避けるには、コンピュータおよび必要なすべてのケーブルを AVerVision AV-SPB350+に接続してから、コンピュータの電源を入れてください。

### 静止画像を取り込み、保存することができません。または応答してません。

- 「FULL」メッセージ表示の際は、画像を PC に転送するか、またはメモリソースをフォーマットしてください。メモリソースが最大容量に達したことを意味します。
- 「SD PROTECT」メッセージ表示の際は、スロットから SD カードを抜き、ロック解除してください。SD カードが書き込み保護されている状態です。
- キャプチャ設定が継続モードで、時間間隔が長い場合は MENU を押し > Capture > Single の順に選択するか、継続モード時間間隔設定を変更してください。

### プレゼンテーション画面の歪んだ画像や不鮮明な画像が表示されます。

- 画像がぼやけていたり、または焦点が合っていない場合、自動フォーカスポタンを押して自動的に焦点を調整してください。
- 自動フォーカスポタンが作動せず、焦点を調整することができない場合、レンズモーターが調節不可の状態です。電源をいったん抜いて接続し直し、レンズモーターを再調整してください。

## 保証について

該当製品の購入日から始まる、下記の「**購入済み AVer 製品の保証期間**」に記載された期間、AVer Information Inc. (以下“AVer”)は、該当する製品(以下「製品」)が AVer の製品説明書に準拠し、通常の使用では、その製品および部品の材質・内容に欠陥がないことを保証します。本契約の規定で使用される「お客様」とは、製品を購入または設置する個人あるいは企業体のことを指します。本限定保証は当初購入者であるお客様のみ適用されます。前述の場合を除き、本製品は「現状のまま」提供されます。AVer はいかなる場合でも、本製品の操作に際して問題や障害が発生しないことや、本製品がお客様の目的に合致していることを保証するものではありません。本項でのお客様の唯一の救済措置、そして AVer の全責任は、AVer の裁量で、同じまたは同等の製品で、製品の修理または交換を行うことです。本保証は、(a) 製品のシリアル番号が判別不能だったり、修正されたり、外されたりした場合、または (b) カートン、ケース、電池、キャビネット、テープ、アクセサリには適用されません。本保証は、(a) 事故、不正使用、誤用、不注意、火災、水害、落雷などの自然災害、商業的または工業的使用、不正な改造、あるいは製品説明書の指示に従わないこと、(b) メーカー代理店以外の者によるサービスの誤用、(c) 出荷時の損害(そうした賠償請求は運送業者に請求しなければならない)、または (d) 製品の不具合に関連しない他の原因により、損傷、機能悪化、異常が生じた製品には適用されません。製品を修理または交換する保証期間は、(a) 本来の保証期間、もしくは (b) 修理または交換した製品の出荷日から30日間以内とします。

### 保証の制限

AVer はいかなる第三者に対しても保証する責任を負いません。製品の使用または不使用によって使用者に要求されたすべての賠償、損害、返済、費用、弁護士費用については、使用者が責任を負います。この保証は、製品が AVer の仕様に従って設置、操作、保守、使用された場合のみ適用されます。特に、保証は、(i) 事故、異常な物理的、電氣的、電磁氣的ストレス、粗略な取扱い、誤用、(ii) AVer の仕様の範囲を超える電力の変動、(iii) AVer または同社の正式代理店によって提供されたのではないアクセサリやオプションの併用、または (iv) AVer または同社の正式代理店以外の者による製品の設置、改造、修理によって引き起こされるいかなる障害にも適用されません。

## 保証の放棄

AVer は、明白に規定されている場合を除き、および法律で最大限に認められる範囲で、明示的か、暗黙か、法令によるかを問わず、品質の満足、売上の過程、取引利用や慣行や商品性の暗黙的保証、特定の目的への適合性、第三者の非侵害を含む、またはそれらに限定されない製品に関する他のすべての保証を放棄します。

## 責任の限定

AVer はいかなる事態が発生しようとも、過失または他の法的理論を含む契約または不法行為に基づき、この制限付き保証、またはいかなる製品の使用または性能に関連して発生した利益、データ、売上、利用の損失、またはビジネスの中断、または代替商品やサービスの提供コストを含む、またはそれに限定されない、直接的、間接的な、特殊な、偶発的な、深刻な、必然的な損害および損失に対して、そのような損害の可能性が事前に何らかの形で指摘されていたとしても、責任を負わないものとします。いかなる形態の行為に起因するものであれ、損害に対する AVer 責任は、責任が求められる特定の製品に対して使用者が AVer に支払った額を超えないものとします。

## 準拠法と使用者の権利

この保証は使用者に特定の法的権利を付与しますが、使用者は法に基づく他の権利を有する場合があります。これらの権利は国・地域により異なります。



保証期間については、保証書を参照してください。